

製品名: PKC γ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16201**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	78kDa

抗原情報

遺伝子名	PRKCG
別名	PRKCG; PKCG; Protein kinase C gamma type; PKC-gamma
遺伝子 ID	5582.0
SwissProt ID	P05129
免疫原	抗血清はヒト PRKCG の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 521-570

背景

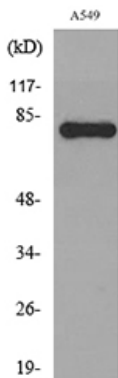
プロテインキナーゼ C (PKC) は、カルシウムやセカンドメッセンジャーであるジアシルグリセロールによって活性化される、セリン

およびスレオニン特異的なプロテインキナーゼのファミリーです。PKCファミリーのメンバーは、幅広いタンパク質標的をリン酸化します。また、多様な細胞シグナル伝達経路に関与することが知られています。PKCは、腫瘍プロモーターの一種であるホルボールエステルの主要受容体としても機能します。PKCファミリーの各メンバーは、特定の発現プロファイルを持ち、細胞内で異なる役割を果たしていると考えられています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、PKCファミリーのメンバーの1つです。このプロテインキナーゼは、脳と脊髄でのみ発現し、その局在はニューロンに限定されています。長期増強 (LTP) や長期抑制 (LTD) など、いくつかのニューロン機能は、このキナーゼを特に必要とすることが実証されています。マウスのノックアウト研究では、このキナーゼが神経触媒活性に関与している可能性も示唆されています。PKCは、腫瘍プロモーターの一種であるホルボールエステルの受容体としても機能します。機能: カルシウム活性化、リン脂質依存性、セリンおよびスレオニン特異的酵素です。、オンライン情報: Retina International's Scientific Newsletter,類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。AGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。PKCサブファミリー。、類似性: 1つのAGCキナーゼC末端ドメインを含みます。、類似性: 1つのC2ドメインを含みます。、類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、類似性: 2つのホルボールエステル/DAG型ジンクフィンガーを含みます。、サブユニット: CDCP1と相互作用します。、

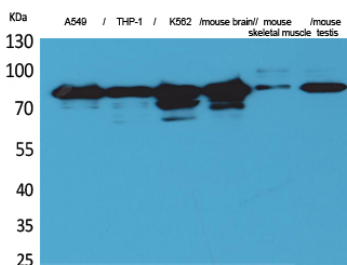
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;ErbB_HER;カルシウム;ホスファチジルイノシトールシグナル伝達システム;血管平滑筋収縮;WNT;WNT-T CELLVEGF;焦点接着;タイトジャンクション;ギャップジャンクション;ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害;FcγRを介した貪食;白血球の内皮透過移動;長期増強;長期抑制;メラニン形成;アルドステロン調節性ナトリウム再吸収;コレラ菌感染症;癌における経路;神経膠腫;非小細胞肺癌;

画像データ



PRKCG抗体を使用したA549細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



PKCγポリクローナル抗体を用いたA549、THP-1、K562、マウス脳、マウス骨格筋、マウス精巣細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は1:20000に希釈した。



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された